

# CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

お問合せ電話:+81-3-6453-9601

## 中国ニードルコークス市場近況

(2021年11月)

### 1. ニードルコークス

11月に入り中国ニードルコークス(以下、「NC」)市場は値上がりしている。原料価格の高騰が主因だと言われている。

錦州石化、山東益大、宝武炭業などのNCメーカーは11月2日に販売価格を引き上げ、仮焼コークスは約4.36%、生コークスは8.33%値上がりした。

表1 NC平均価格の推移(10月~11月)

1元=17.76円で換算

		10月上旬		11月上旬		増加幅	
		人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)	人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)	人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)
石油系	仮焼コークス	9,500-11,000	16.87-19.54	9,800-12,000	17.40-21.31	300-1,000	0.53-1.78
	生コークス	5,600-6,500	9.95-11.54	6,500-7,500	11.54-13.32	900-1,000	1.60-1.78
石炭系	仮焼コークス	8,500-9,000	15.10-15.98	8,800-9,500	15.63-16.87	300-500	0.53-0.89
	生コークス	5,150-5,600	9.15-9.95	6,000-6,500	10.66-11.54	850-900	1.51-1.60

### 2. 石炭ピッチ

軟ピッチは10月でも値上がりが続き、11月1日現在、1トン5,857元(10.40万円)で前月比11.33%伸び、本年1月に比べ89.98%上昇した。

現在の石炭ピッチ価格で計算すると、石炭系NC価格は生産コストが出荷価格を上回った逆転現象が起きている。一方、石炭系NCは低稼働率による少ない在庫で高値が続くと見込まれる。

### 3. スラリーオイル

石油価格の高騰でスラリーオイル価格は10月に入って大幅に値上がりしている。

11月2日現在、中・高硫黄スラリーオイルは3,704元/トン(6.58万円/トン)で前月比13.52%値上がりし、品質のいい低硫黄スラリーオイルは需給逼迫の状況である。

コスト高を受けて石油系NCの平均価格は生産コストを僅かに上回る程度である。

# CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

お問合せ電話:+81-3-6453-9601

---

## 4. NC メーカーの稼働率

2021年9月、NCメーカーの稼働率は約44.17%だった。石炭系はコスト高と出荷量の鈍化を受けて生産停止や減産したところが多くあったが、石油系の稼働率は比較的高かった。

然し、10月末現在の石炭系NCメーカーの平均稼働率は33.70%となった。

## 5. NC 価格の見通し

軟ピッチ、スラリーオイルの高値が続き、短期的にNC価格は上昇傾向が見込まれる。ただし、10月下旬からの石炭価格下落でコールタールのコスト高が緩和されているため、川下の石炭ピッチなどが値下がりすると予想される。

石炭系メーカーの稼働率が低く、新規建設のNC装置で生産する製品が発売されないため、高品質NCの市場供給が不足しており、価格は上昇するかと予想される。

一方、電力使用制限、生産制限で川下の負極材料、黒鉛電極の稼働率低下によりNC需要は不足している。

NCの原料価格と需給状況から見ると、価格は高値が続くと予測されている。

情報源：石墨盟より整理作成。